

～新型コロナワクチン接種に伴う反応性リンパ節腫大について～

受診者様各位

新型コロナワクチン接種後の副反応として、倦怠感や頭痛、発熱などの症状に加えて、脇の下のリンパ節の腫れが報告されています。これはご自身の免疫機能が働いているため心配はございません。但し、乳がん検診のマンモグラフィや乳腺超音波の画像診断に影響を及ぼすことがあります。

日本乳がん検診学会から「乳がん検診にあたっての新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への対応の手引き」<http://www.jabcs.jp/images/covid-guide202106.pdf> が示され「ワクチン接種前に施行するか。2回目のワクチン接種後少なくとも6～10週間の間隔をおいてから施行すること」が推奨されています。

なお、その時期は絶対に検診を受けてはいけないということではありません。

以上の内容をご理解いただいた上で、健康診断の日程変更をご希望の方はお問合せいただきますようよろしくお願いいたします。

◎乳がん検査の日程変更をご希望の場合は、他の検査項目すべてに日程変更が必要になります。

◎会社・健康保険組合で実施期限が定められている場合は期間内での実施をお願いいたします。

◎乳がん検査前に「何日前に、何回目のコロナワクチンを、どちらの腕に接種されたか」を伺いますので、ご協力いただきますようお願いいたします。